

新たな息吹 SINCE2007



# さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail [y3sawano@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3sawano@edu.city.yokohama.jp)**3月号**

子どもが乗り越えていく力

～ほんとうの「子ども主体」とは～

学校長 鈴木 和枝

夏に誕生し、秋から本校で飼育を始めたモルモット「モルッチ」も、毎日の1年生のお世話や地域の方の見守りやご助言のおかげで、ぐっと大きくなりました。季節はすっかり春。学校も令和4年度のまとめの時期となりました。

さて、2月24日には、10月に設置した学校運営協議会の第2回目を行いました。今回は、子どもたちの学びにおける姿そのままを見ていただき、その後協議会を行いました。午前中から1、2年生、個別支学級の様子を見ていただいた委員の方々は、4時間近くの長丁場だったにもかかわらず、子どもたちが考えている姿、iPadに記録しながらグループの友達と話し合っている姿、友達に対して自分の思いや考えを伝えている姿などを、にこやかにご参観くださいました。子どもたちも、自分のやっていることを「見てください。」と言ったり、委員の方のお言葉がけにうれしそうに応えたりしていました。

後に続いた協議会では、短い時間ながらも委員の方々から、今後につながる貴重なご意見やご感想をたくさんいただいたのですが、その中で強く感じたことがありました。それは「子ども主体」「子どもが主役」ということの中身です。本校は、「すすんで学び 笑顔かがやく さわの里～思いや願いをもち、つながる力を育てます～」の学校教育目標の下、主体的に学ぶ子どもの育成に取り組んできました。その中で、子どもたちの自己肯定感を高めたいと願い、教育活動に取り組んできました。子どもの思いや願いを軸にした生活科、総合的な学習の時間の単元づくりに全教職員で取り組み、子どもが本気になって学ぶ姿への変容を目指してきました。今、この1年をふり返るときを迎え、委員の皆さまのお話をお聴きし、「もっともっと子ども主体は実現できる」と思わざるを得ませんでした。それは、「思い通りに行かないことにも向き合わせる」「子ども自身が、ほんとうに『これでよし!』と言えるところまで、『ここまでやれば納得!』というところまでやらせる」ということです。私たち大人は、子どもの取組を「成功させたい。」と願います。でも、その「成功」は、決して大人が中心となって頑張り子どものために生み出すものではなく、子ども自身の手でつかむものです。そのためには、私たち大人は、子どもに何を問い、何を為すか、子どものどういう姿を見守るかを、考えなければいけません。ときには、じっと「待つ」だけのこともあるかもしれません。あるいは、「これじゃあなたの思いは伝わらないよ。」といった厳しいことを言わなければいけない勝負のときもあるのだと思います。

でも、きっと、いや絶対に、子どもはそうしたことを乗り越えていけるはずです。「自分には自分がやっていること、頑張っていることを応援してくれる大人がいる」と感じていれば。そうしたときに、初めて「子ども主体」となるのだと、学校運営協議会でのお話をお聴きして感じました。これからも、さわの里小はさらに「子ども主体」「子どもが主役」の学校を目指したいと考えます。

最後になりましたが、本年度も、子どもたち、教職員、そして本校をお支えいただき、本当にありがとうございました。心より深く御礼申し上げます。締めくくりの日まで、教職員一同がんばります。



秋に大岡川で見つけたカニ。大切に飼って来ました。今でも元気です!